

令和6年度第3回 大阪府・大阪市経済動向報告会 令和6年11月13日(水)

最近の大阪経済の動向

大阪産業経済リサーチセンター

(大阪府商工労働部 商工労働総務課)

町田 光弘

2024年7～9月期の大阪経済の動向

大阪府 「大阪経済は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

(大阪産業経済リサーチセンター: 令和6年10月22日)

全国

「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」

(内閣府「月例経済報告」: 令和6年10月29日)

近畿・関西

「近畿の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

(近畿経済産業局「近畿経済の動向」: 令和6年10月17日)

「関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している」

(日本銀行大阪支店「関西金融経済動向」: 令和6年10月3日)

本日の内容

1. 景気の勢い: 「景気の持ち直しに一服感がみられる」とは？
2. 先行き : 「景気の先行きを考えるうえでのポイント」は？

1. 景気総合1

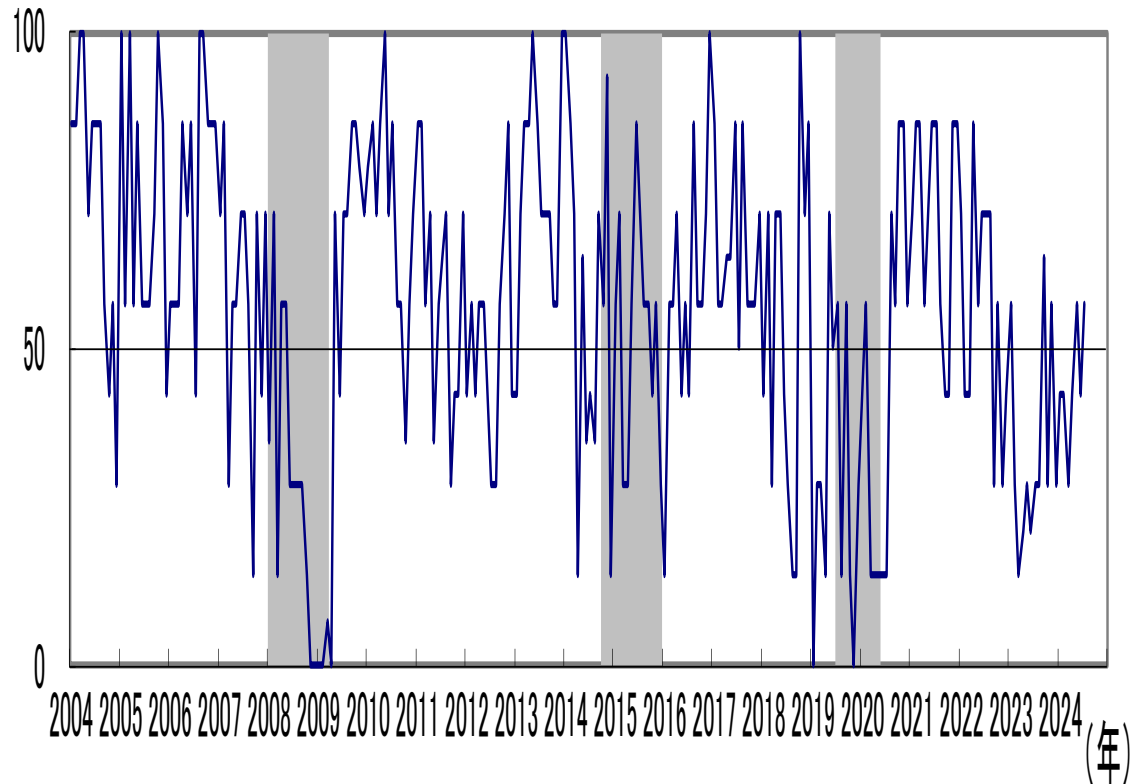
大阪の景気は山を越えたか？

大阪府景気動向指数

系列名

先行系列	投資財生産指数	
	生産財在庫率指数	R
	新規求人倍率	
	新設住宅着工戸数	
	日経商品指数42種	
	企業倒産件数	R
	景気観測調査（業況DI）	※
一致系列	百貨店売場面積当たり販売額	*
	大阪税関管内輸入通関額	
	製造工業生産指数	
	生産財出荷指数	
	人件費比率（製造業）	R
	有効求人倍率	
	所定外労働時間指数（製造業）	
遅行系列	製造工業在庫指数	
	常用雇用指数（調査産業計）	*
	雇用保険受給者実人員	R
	大阪市消費者物価指数	*
	大阪市実質家計消費支出	*
	きまって支給する給与指数（製造業）	
	法人事業税調定額	

DI一致指数



[R]は逆サイクル。[※]は四半期データ、[*]は前年同月比、他はセンサス局法X-12-ARIMAによる季節調整値を採用。

シャドー部分は、大阪府の景気後退期を示す。

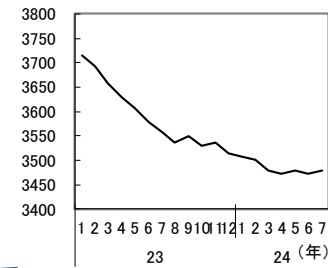
【データ出所】大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」。

1. 景気総合2

景気の勢いは弱い

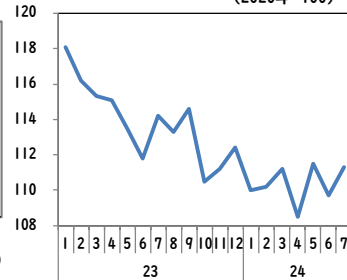
大阪府景気動向指数

累積DI (一致指数)

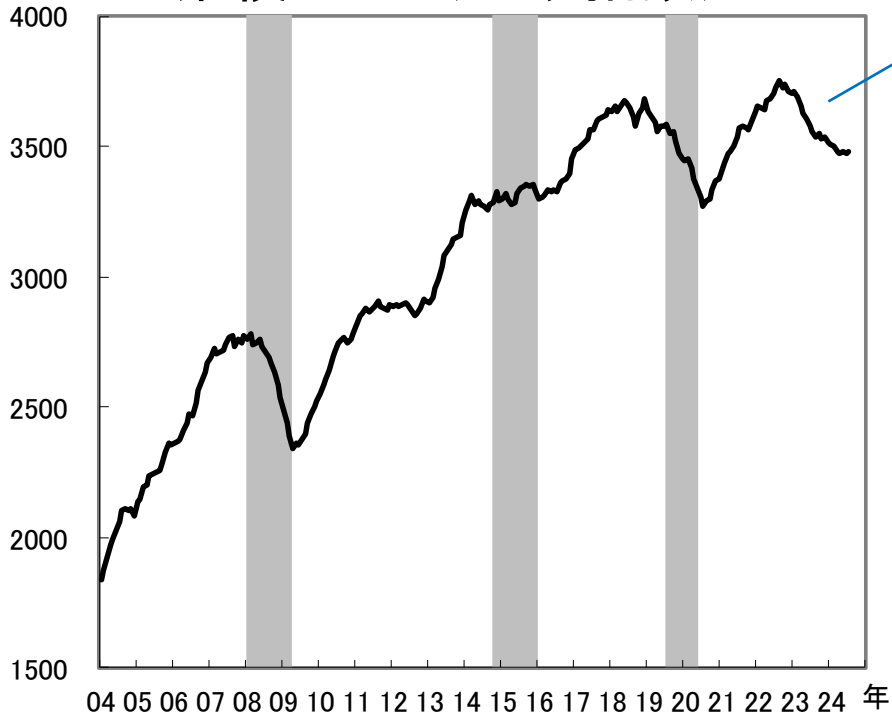


CI (一致指数)

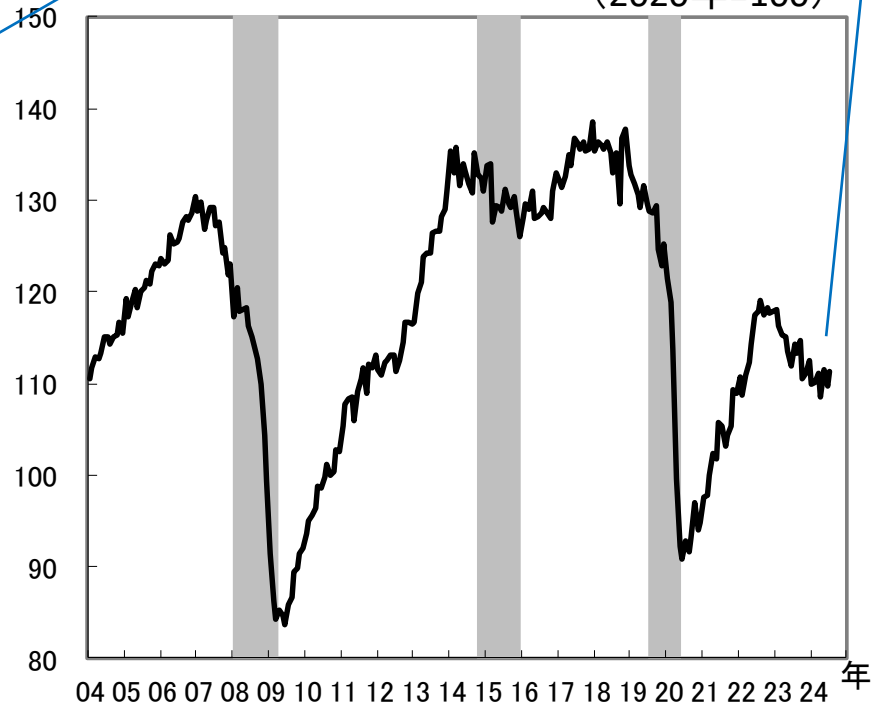
(2020年=100)



累積DI (一致指数)



CI一致指数(2020年=100)

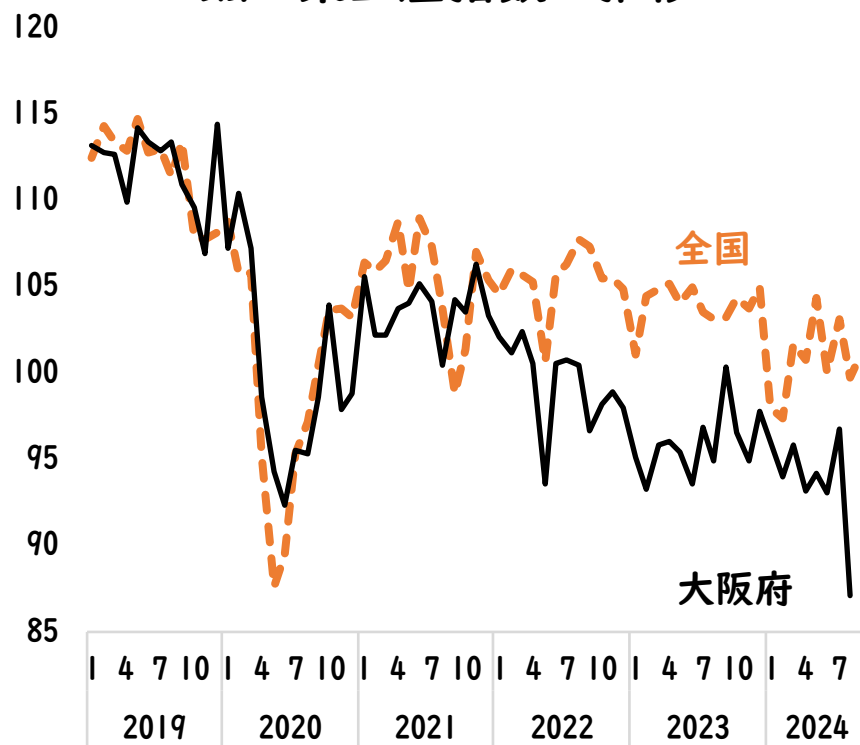


※シャドー部分は、大阪府の景気後退期を示す。ただし、2019年7月～2020年5月は暫定。累積DI(一致指数)は2000を加えている。
【データ出所】大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」。

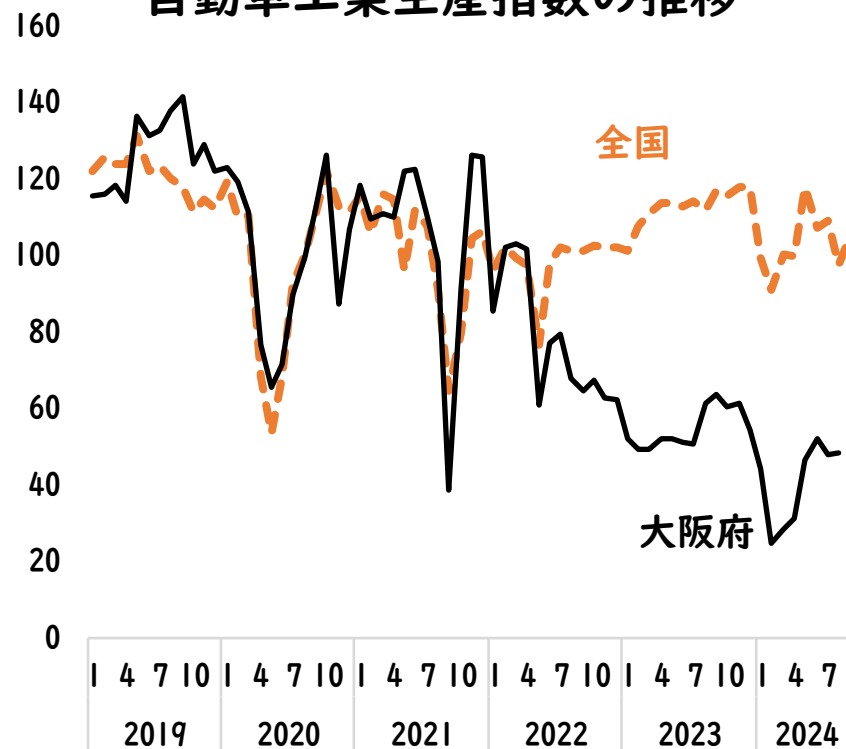
2. 供給（生産）

生産動向は低下傾向の後、一進一退で推移

鉱工業生産指数の推移



自動車工業生産指数の推移

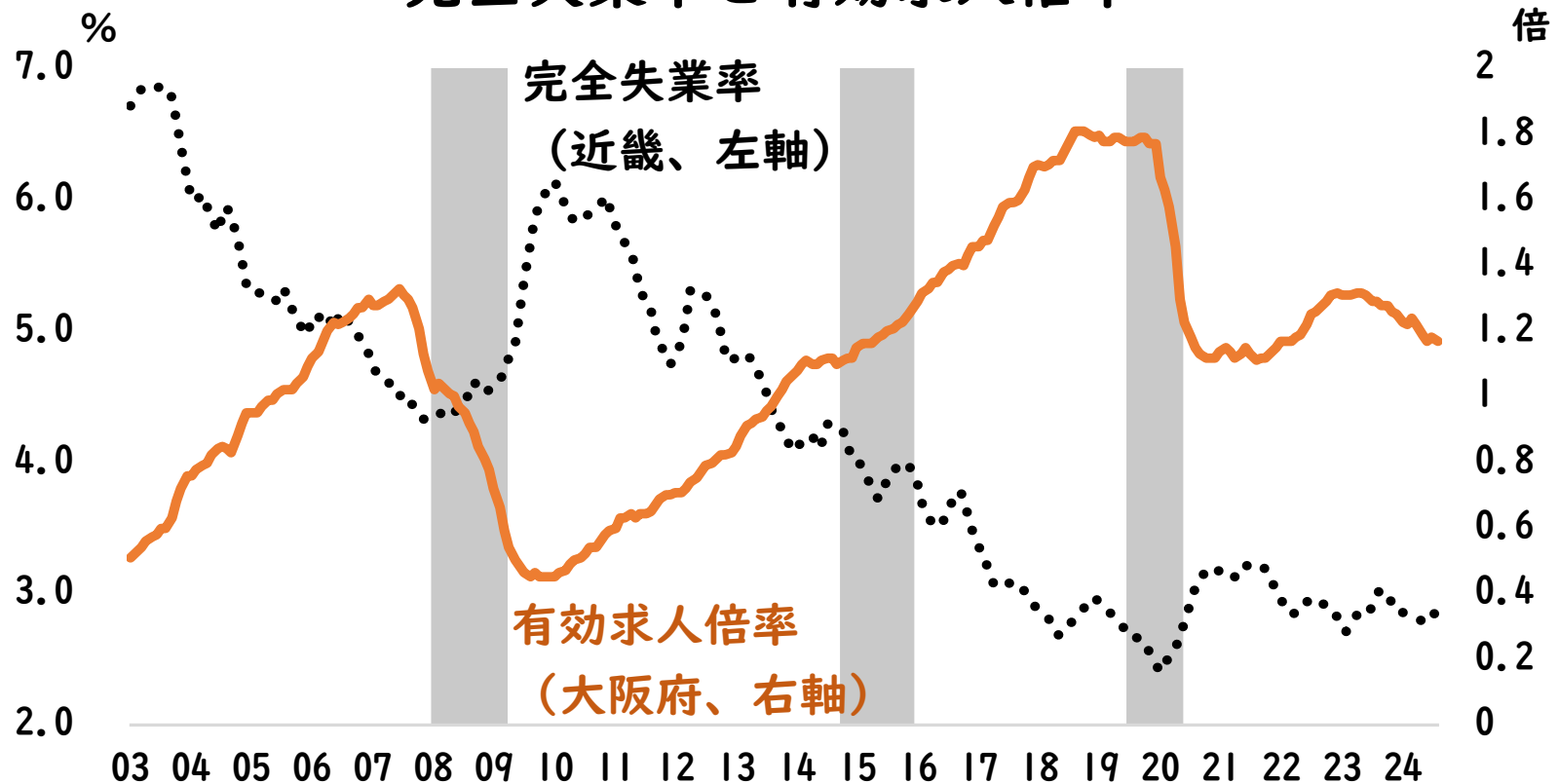


【データ出所】大阪府大阪府統計課「大府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2020年=100。

2. 供給（雇用1）

失業率が横ばいの状況で有効求人倍率は低下

完全失業率と有効求人倍率

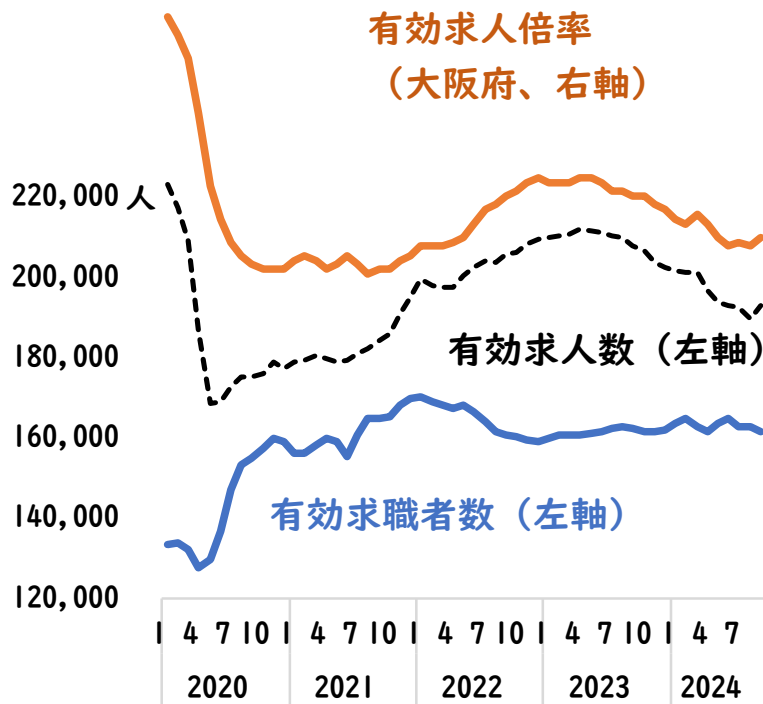


※シャドー部分は、大阪府の景気後退期を示す。完全失業率は、7か月後方移動平均。
 【データ出所】総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

2. 供給（雇用2）

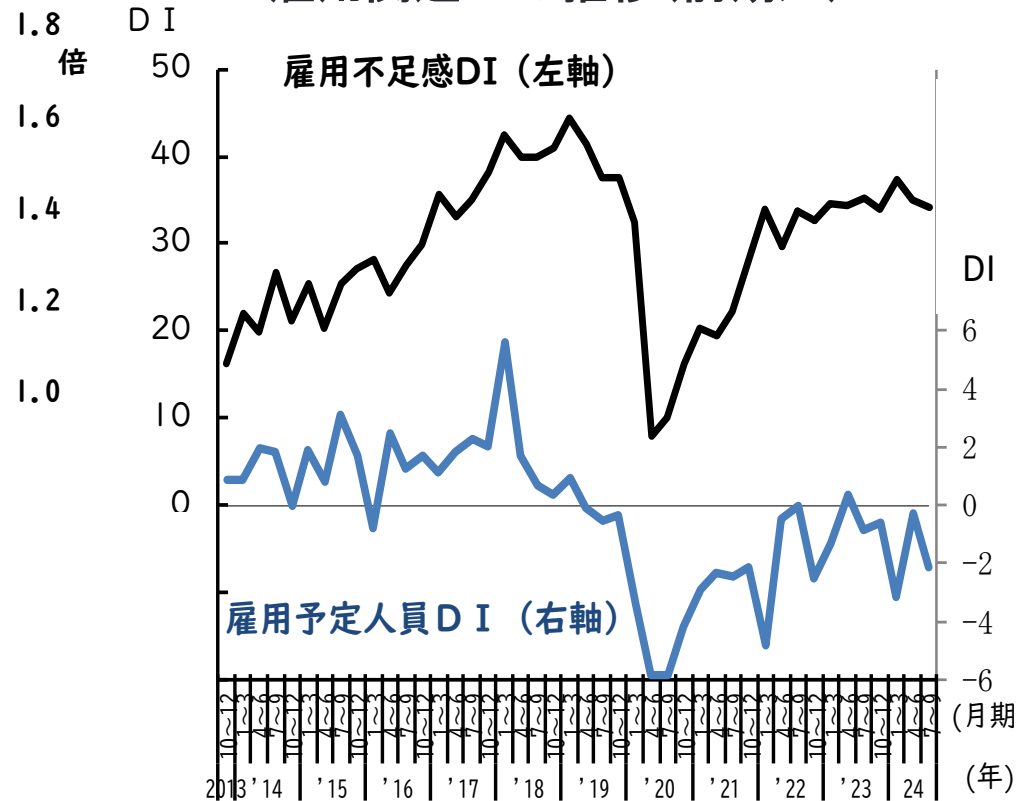
人手不足感はあるが、有効求人数は減少

求人数と求職者数（大阪府）



※季節調整値
【データ出所】厚生労働省「一般職業紹介状況」

雇用関連DIの推移（前期比）

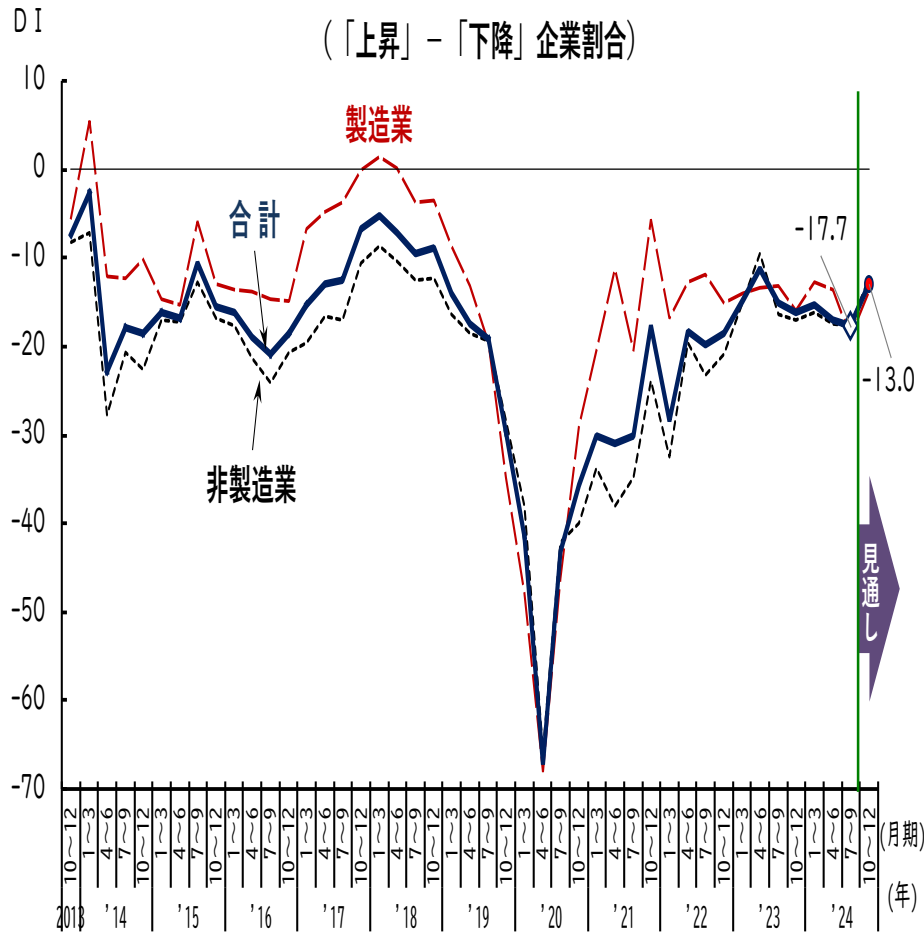


※雇用不足感DIは、「不足」-「過剰」企業割合
雇用予定人員DIは、「増加」-「減少」企業割合、
季節調整値。
【出所】大阪産業経済リサーチセンター
「大阪府景気観測調査」

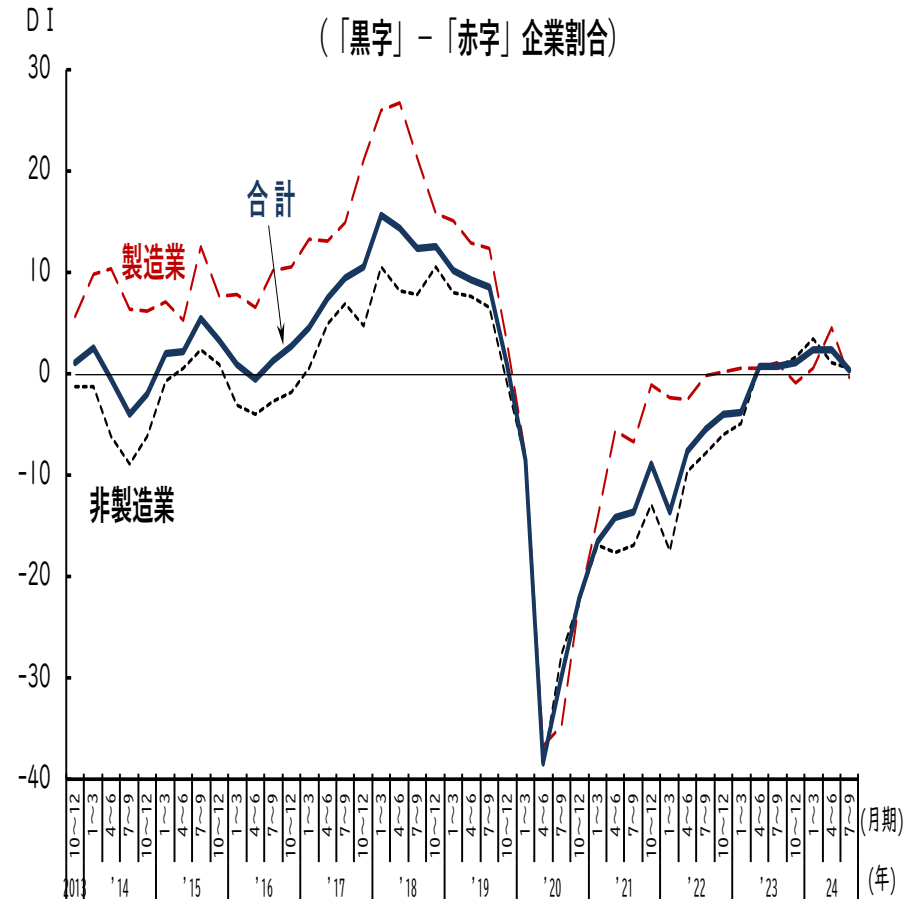
3. 企業の景況感

企業の業況判断DIも緩やかな低下基調

業況判断DIの推移(前期比、季節調整済)



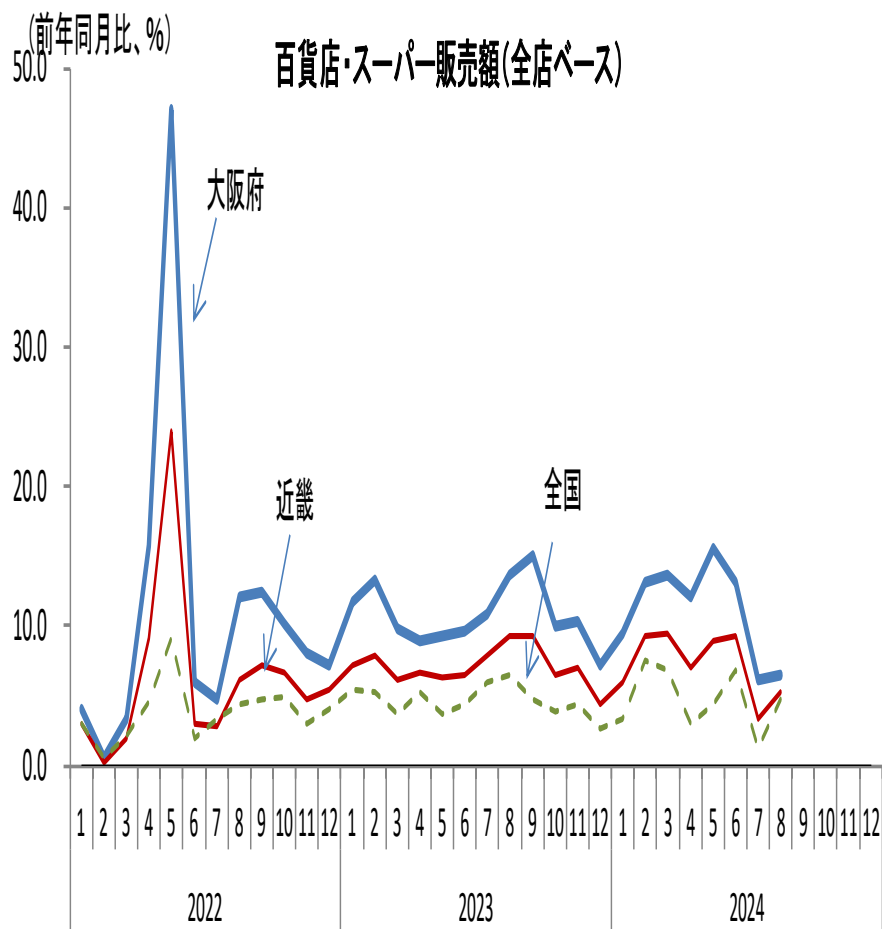
営業利益判断DIの推移(季節調整済)



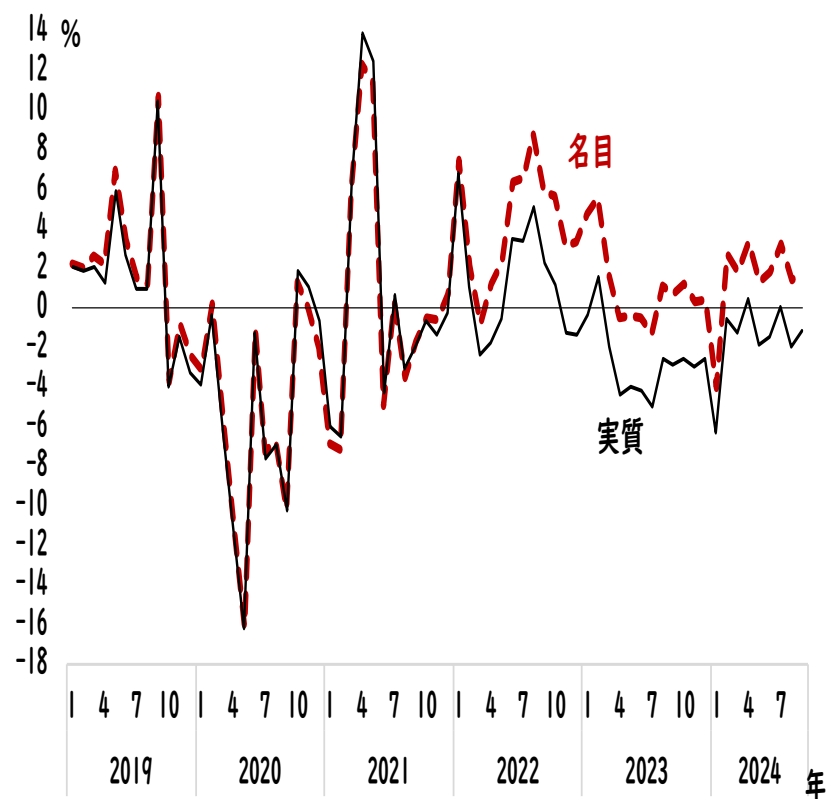
【データ出所】大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」。

4. 需要（消費）

消費は、名目で増加も、実質では低調



消費支出の推移(全国、対前年同月比)



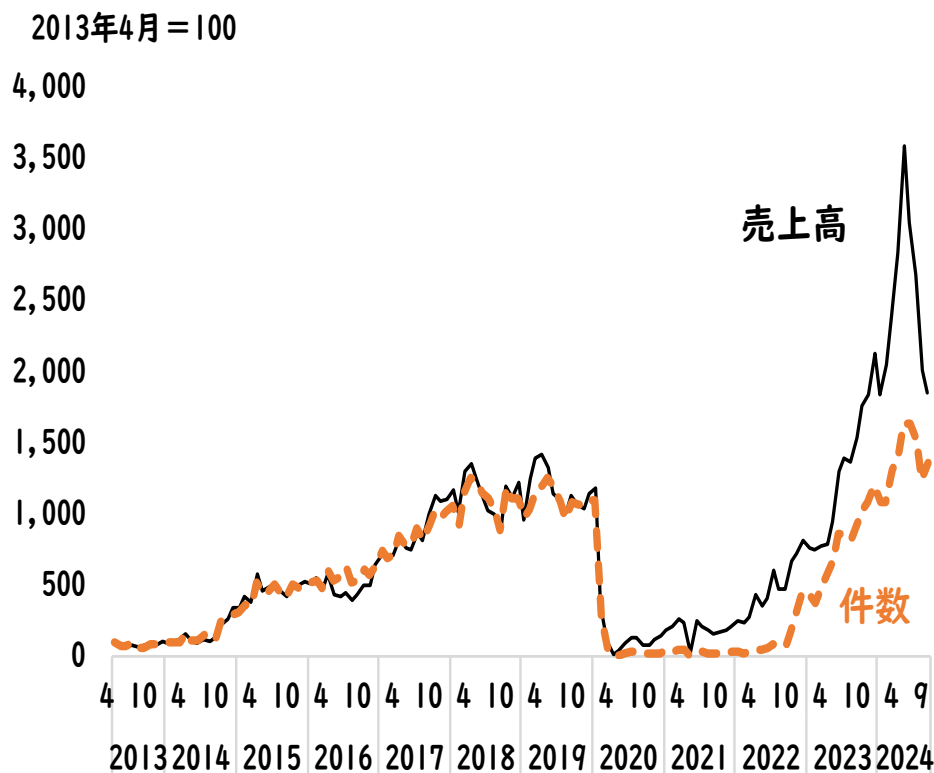
【データ出所】大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」。
 原資料は、近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、
 経済産業省「商業動態統計」

※二人以上の世帯。
 【データ出所】総務省「家計調査」

4. 需要（輸出1）

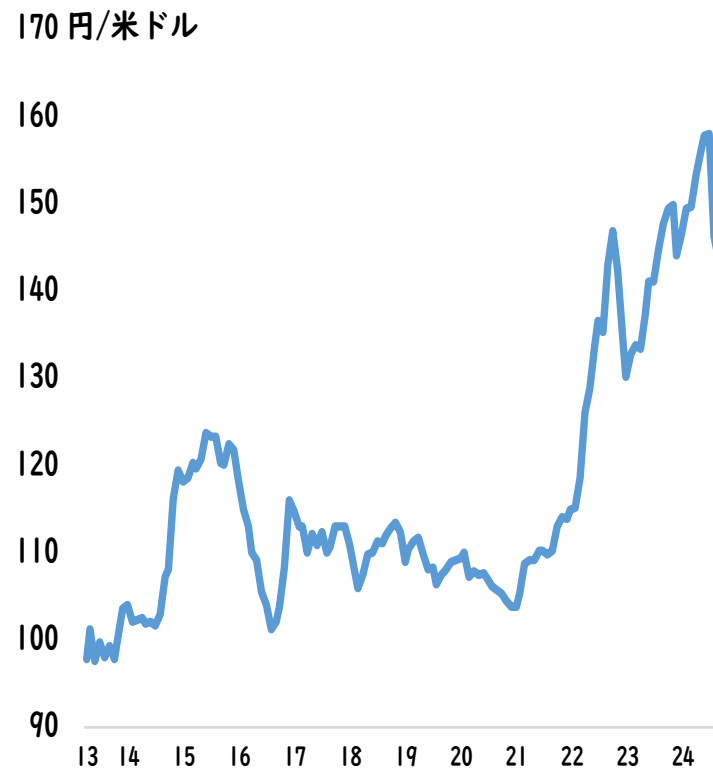
インバウンド消費は、大幅に増加

百貨店免税売上高（関西地域）



【データ出所】日本銀行大阪支店「百貨店免税売上高」

為替相場



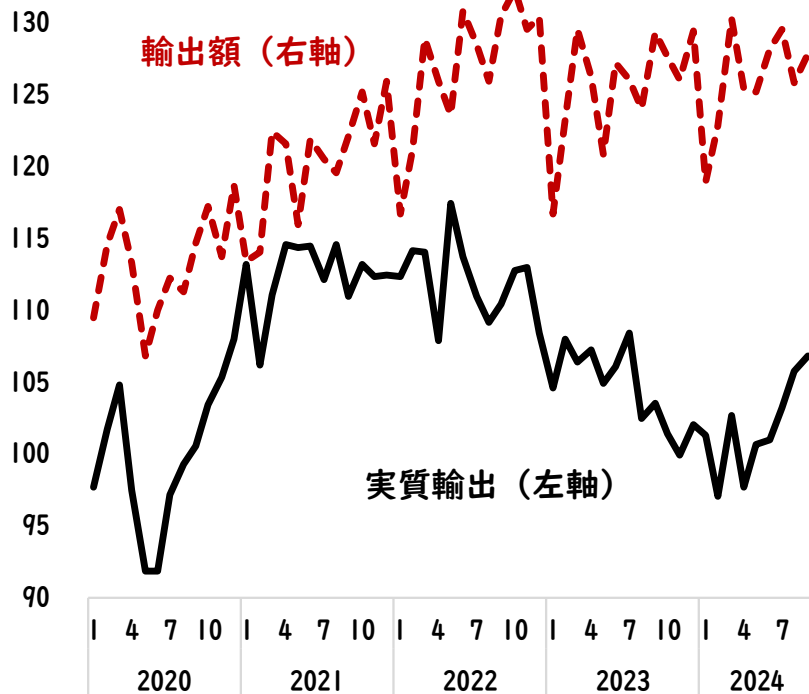
※東京市場、中心相場/月中平均
【データ出所】日本銀行「主要時系列統計データ表」

4. 需要（輸出2）

輸出は、頭打ち

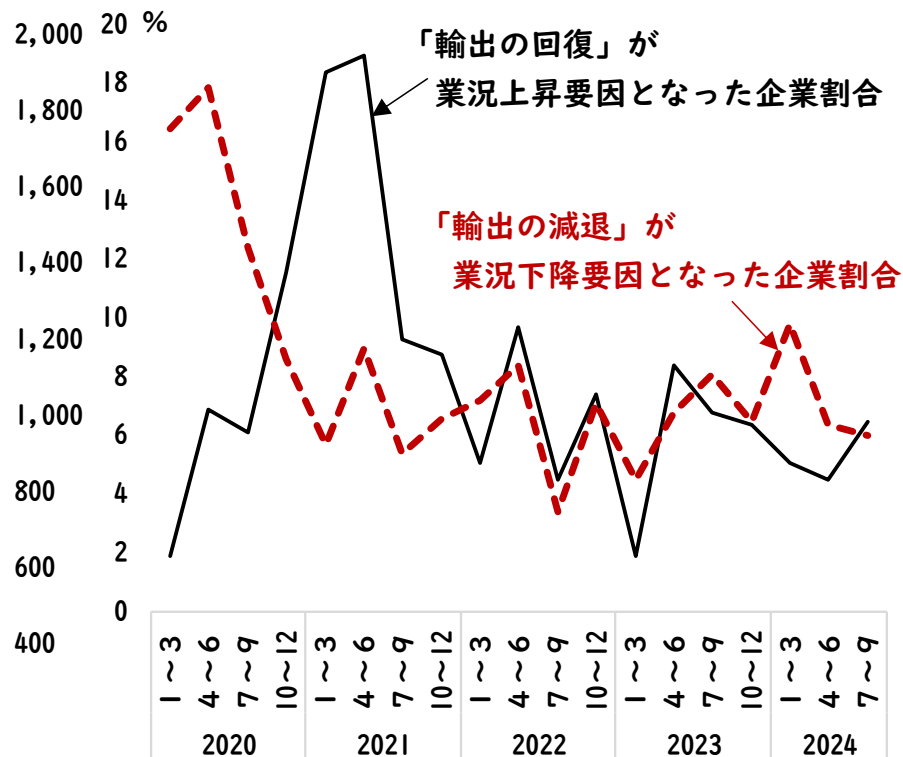
近畿の輸出額と実質輸出

(2020年=100)



輸出が業況上昇／下降要因となった企業割合

(十億円)



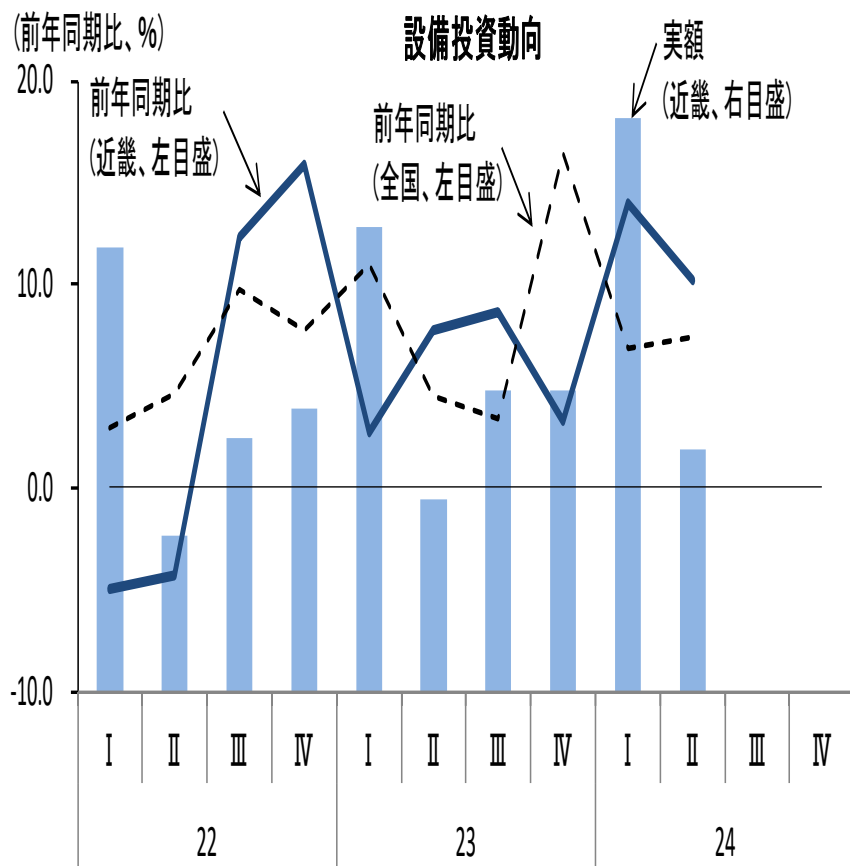
※実質輸出は、2020年平均=100とする季節調整済み指数。
【データ出所】大阪税関「貿易統計」、日本銀行大阪支店「実質輸出」

※2つ以内の複数回答。
【データ出所】大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」。

4. 需要（投資）

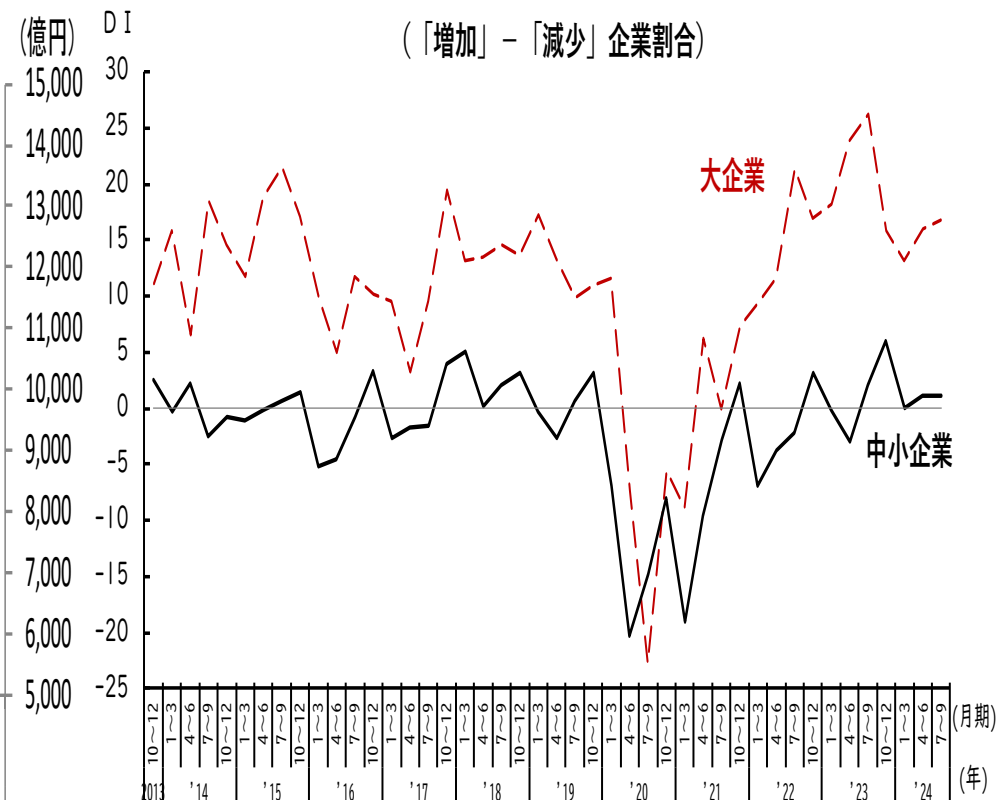
大企業の設備投資は、増加

設備投資額（近畿、資本金10億円以上）



【データ出所】近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」
資本金10億円以上、全産業（金融・保険業を除く）。ソフトウェアを含む
設備投資。

設備投資DIの推移（大阪府、規模別）

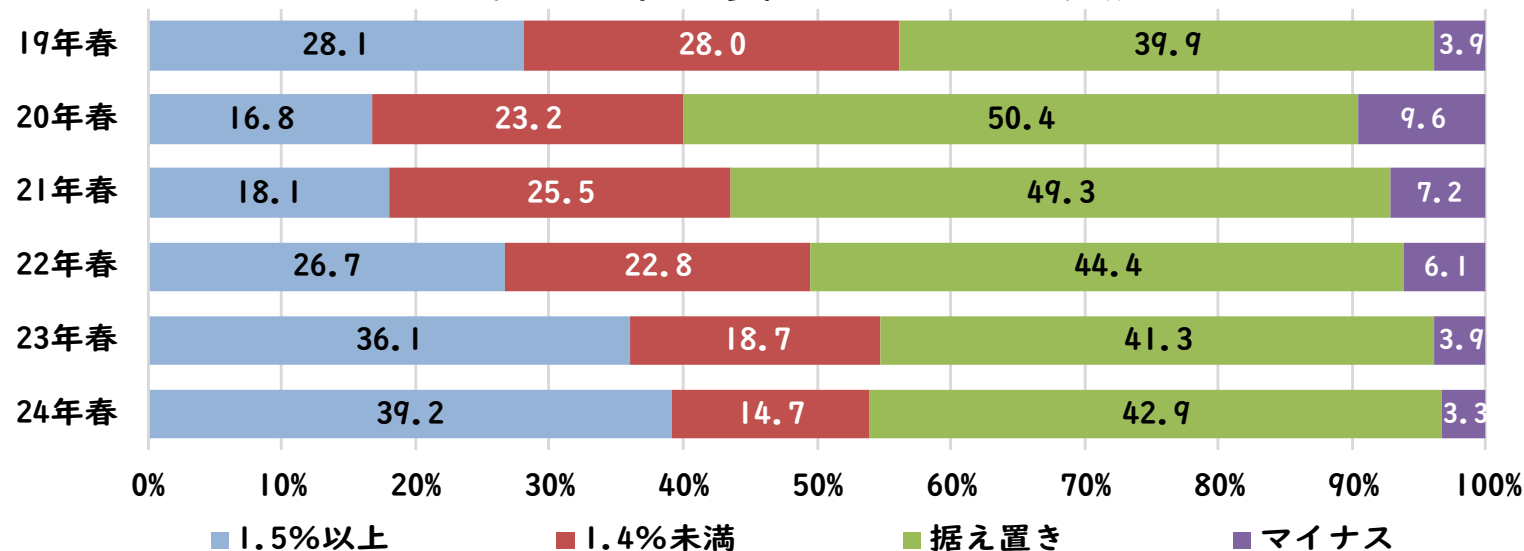


【データ出所】大阪産業経済リサーチセンター
「大阪府景気観測調査」。

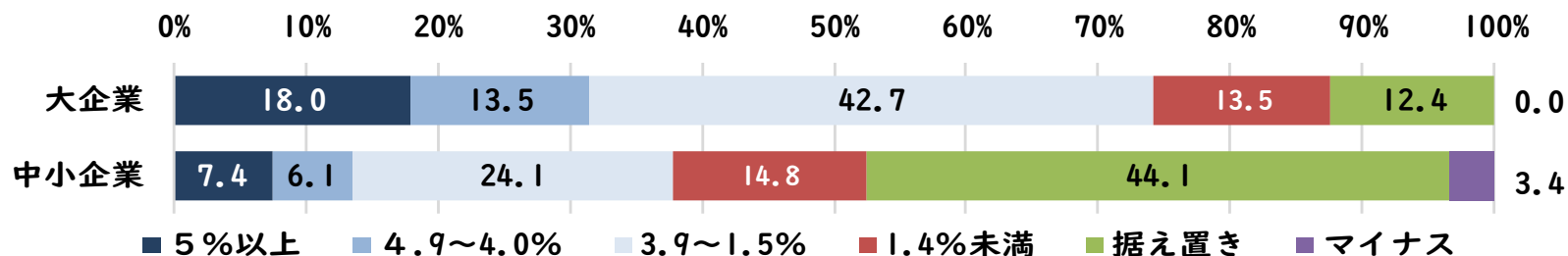
5. 先行き（消費1）

賃上げは二極化

大阪府内企業の賃金引き上げの推移

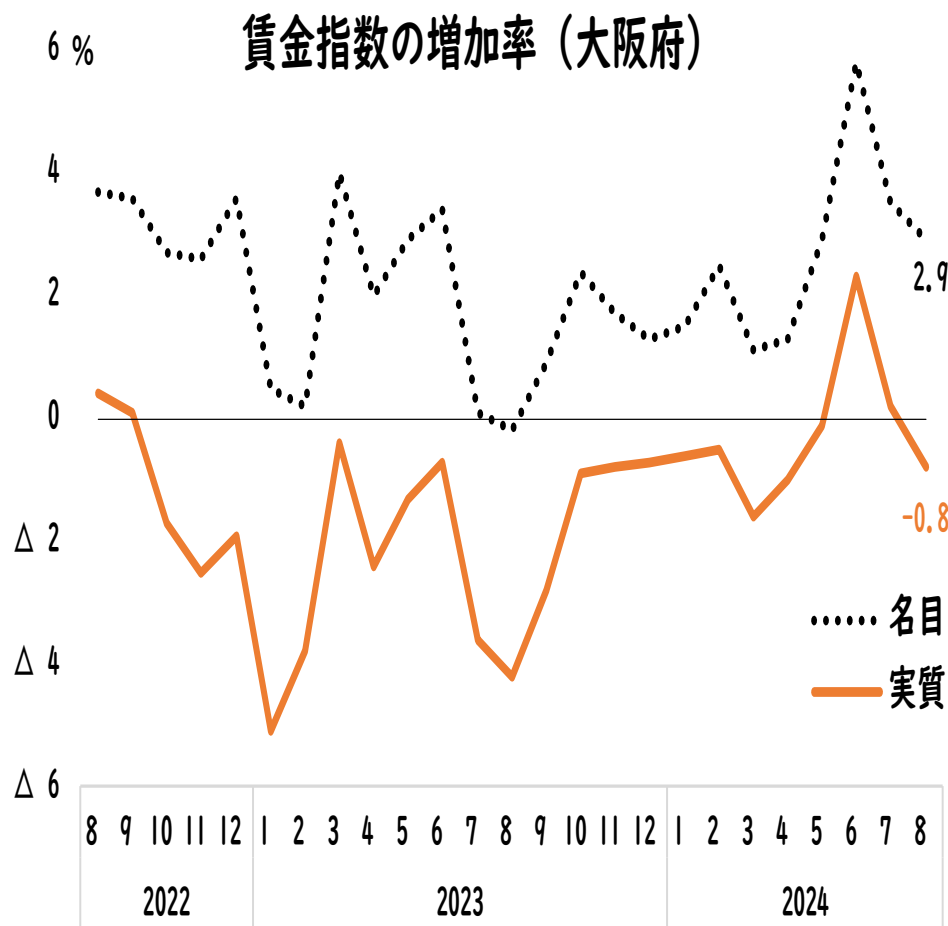


規模別賃金引き上げ状況(2024年春)



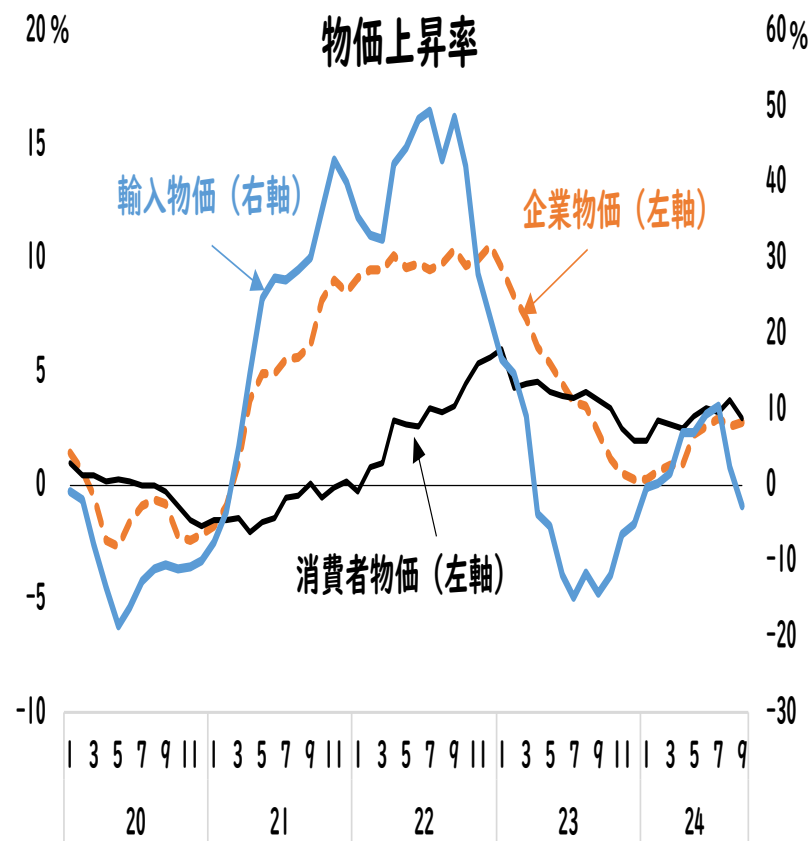
5. 先行き（消費2）

実質賃金は、再びマイナスに



※5人以上。対前年同月増加率。

【出所】大阪府「毎月勤労統計調査地方調査月報」

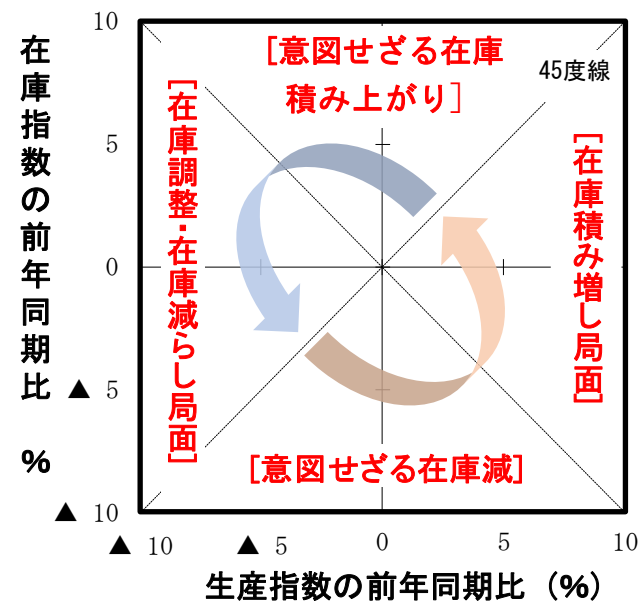
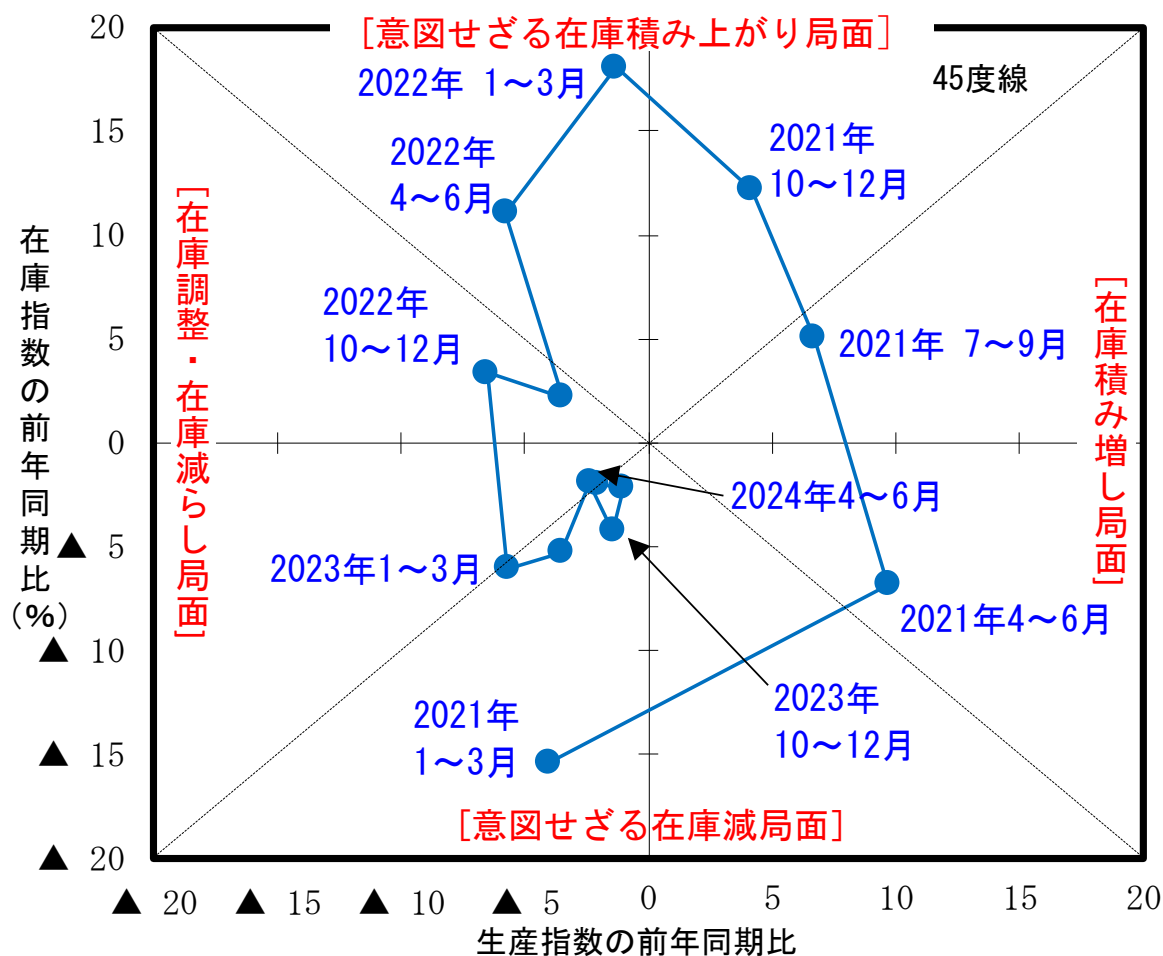


※2020年=100とする指数の対前年同月比。
消費者物価は、持ち家の帰属家賃を除く総合。
【出所】日本銀行「主要統計データ」、総務省「消費者物価指数」

5. 先行き（景気循環1）

在庫循環は、改善に一服感

製造工業の在庫循環図（大阪府）

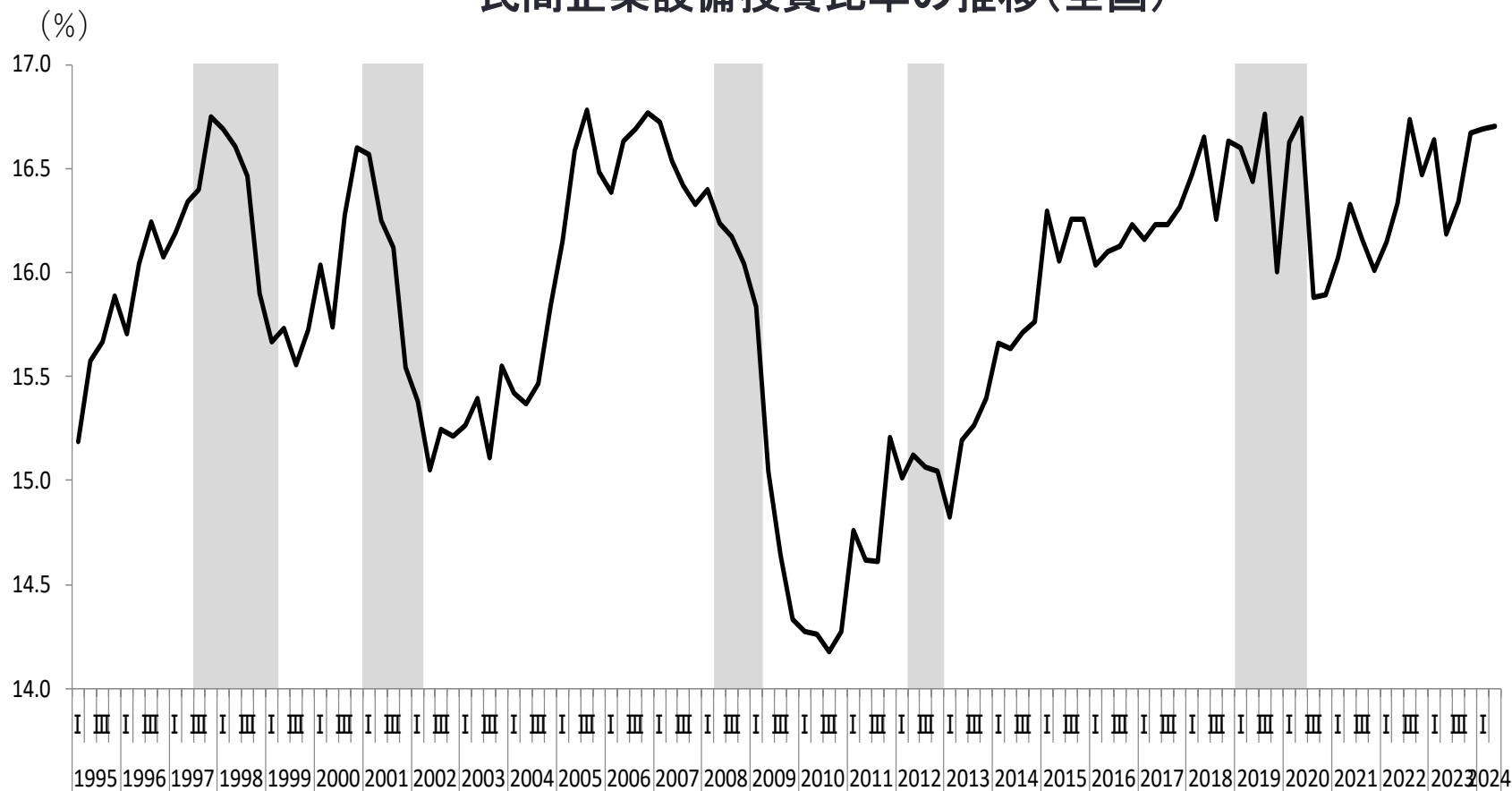


【データ出所】大阪府統計課「大阪の工業動向」。

5. 先行き（景気循環2）

設備投資比率は、高水準

民間企業設備投資比率の推移（全国）



※民間企業設備投資比率は、実質季節調整値での比率。シャドー部分は、全国の景気後退期。

【データ出所】内閣府「国民経済計算」